

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 CL大川、SL井谷

以上2名

2 山城・ルート 大山北壁 小屏風岩尾根

3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

前夜泊 入山日 2018年3月3日 日帰り

3/3 (晴 やや風強し)

3月3日(土) 4:30起床→5:30 大山寺駐車場出発→6:15 元谷小屋 6:45 →

7:45 小屏風岩→8:00 取付→右に回り込み、尾根に取付く →11:45 剣ヶ峰付近 H1700m

地点→弥山山頂→六合目避難小屋→ 13:45 元谷小屋→14:15 大山寺駐車場→入浴後帰神

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

・滝沢リッジに取付く予定であったが、ルートファインディングに慎重さを欠き、小屏風岩に取付いてしまった。小屏風岩の直登は、岩が凍結し、支点が取れず困難なため、右に回り込み、切り立った雪壁を5ピッチ登り、尾根に出て、後4ピッチで剣ヶ峰山頂付近に出た。その後、主稜線を縦走し、弥山山頂を経由して、下山した。

b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す

取付き間違い。

C その他、ルートに関する情報・気がついた事等

・核心部は小屏風岩を右に回り込んでから登った、岩と氷がミックスした切り立った雪壁。岩に硬い氷が付き、十分なランニングも取れず、アイゼンも効きにくく、苦勞した。その後、快適な雪壁を4ピッチ登り、稜線に出た。

稜線に出てからは、斜度が少し緩み、岩が出てきたが、主に右手の雪壁を登り、剣ヶ峰付近に着いた。

・取付いてからの予期しない状態(懸垂下降の支点も作れなかった)から、よく登れたと思う。

・結果的に登攀できて良かったが、取付き確認はもっと慎重にすべきであった。今後に生かしたい。



大山北壁 手前から 滝沢リッジ、弥山尾根、別山ハットレス



小屏風岩を右に回り込んだ雪壁の登攀



終了点から、弥山方面

報告者氏名 大川 肇

平成 30 年 3 月 10 日